「平家物語」の世界／「平家物語」の主な登場人物たち

『平家物語』の世界

●平氏政権の成立

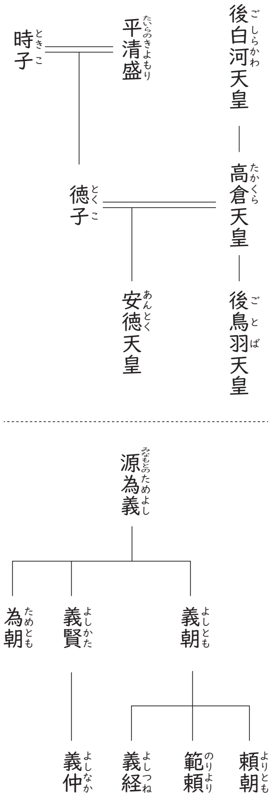
平安時代末期、保元の乱、平治の乱に勝利した平清盛が政治の実権を握り、平家一門は栄華を極めた。次第に清盛は後白河法皇と対立するようになり、各地で平家に反発する動きが起こった。

●源頼朝の挙兵

一一八〇年、平治の乱ののち伊豆に流されていた源頼朝や、信濃の源義仲（木曾義仲）らが、平家打倒の兵を挙げた。頼朝は石橋山の戦いで大敗したが、勢力を立て直して鎌倉に拠点を置くと、進軍してきた平家の軍を富士川の戦いで破った。一一八一年には、清盛が熱病で亡くなった。

●源義経の派遣

一一八三年、義仲の軍が京に迫り、平家は西国に逃れた。都では次第に義仲と後白河法皇との対立が深まり、頼朝は弟の範頼・義経を都に派遣した。義経は宇治川の戦いで義仲を破った。

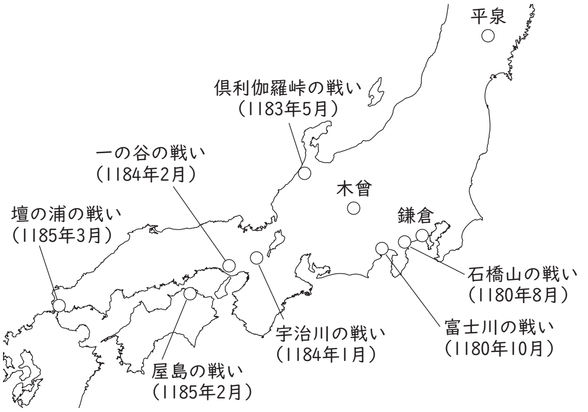


●一の谷の戦いと「敦盛の最期」

西国に逃れていた平家は勢力を盛り返し、福原近くの一の谷に陣を構えた。しかし、義経の奇襲によって平家は破れ、屋島に退いた。『平家物語』ではここで「敦盛の最期」の場面がえがかれる。

●屋島の戦いと「扇の的」

一一八五年、ひそかに海を渡った義経は、平家の背後から屋島を急襲した。平家は舟で海に逃れ、海上の平家と陸上の源氏が向かい合った。『平家物語』ではここから「那須与一」「弓流」の場面がえがかれる。屋島の戦いに敗れた平家は西に逃れ、壇の浦で滅亡する。



年	時代	できごと
	平安	保元の乱・平治の乱 平氏政権の成立 源平の争乱 奥州藤原氏の滅亡
1200	鎌倉	『平家物語』

確認テスト

(1) 次の各文を、過去の出来事から順に並べなさい。

ア 『平家物語』が成立する。
イ 平清盛が政治の実権を握る。
ウ 源義経が壇の浦で平家を滅ぼす。
エ 源頼朝が伊豆で挙兵する。

〔　　→　　→　　→　　〕

(2) 『平家物語』の主な戦いを、過去のものから順に並べなさい。

ア 一の谷の戦い　**イ** 壇の浦の戦い
ウ 富士川の戦い　**エ** 屋島の戦い

〔　　→　　→　　→　　〕

(3) 『平家物語』の主な戦いが行われた場所は、現在の何県か。それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 一の谷〔　　〕　② 壇の浦〔　　〕
③ 富士川〔　　〕　④ 屋島〔　　〕

ア 静岡県　**イ** 兵庫県　**ウ** 香川県　**エ** 山口県

(4) 一の谷の戦い・屋島の戦いで、平家を急襲した人物として適当なものを選びなさい。

ア 源義朝　**イ** 源頼朝　**ウ** 源義仲　**エ** 源義経

〔　　〕

(5) 次の中から、内容が正しいものを選びなさい。

ア 伊豆で挙兵した源頼朝は、のちに平泉を拠点とした。
イ 木曾義仲は政治の実権を握り、鎌倉幕府を成立させた。
ウ 源頼朝は弟の義経らを西国に派遣し、平家を滅ぼした。
エ 一の谷の戦いで平家は滅亡し、源平の争乱は終結した。

〔　　〕